



戦後70年 法政大学と出陣学徒

—記憶と記録

第一部 法政大学における学徒出陣調査

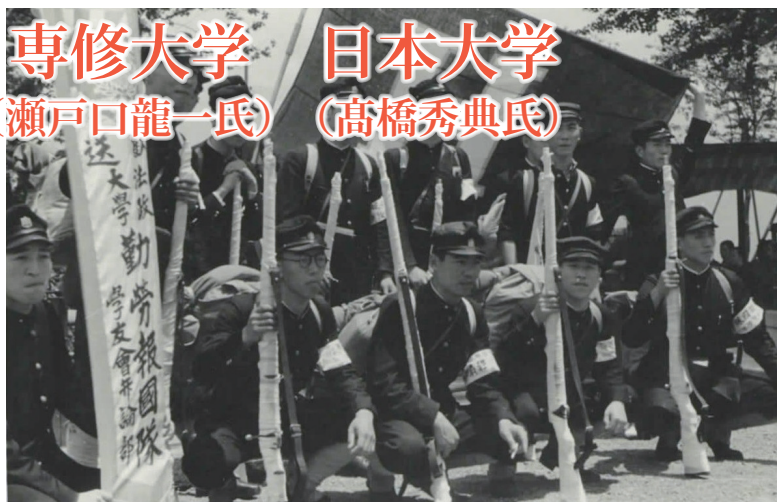
第二部 学徒出陣の記憶と記録～各大学の取り組み

基調講演 都倉 武之氏 《慶應義塾大学》

パネルディスカッション



慶應義塾大学
(都倉武之氏)

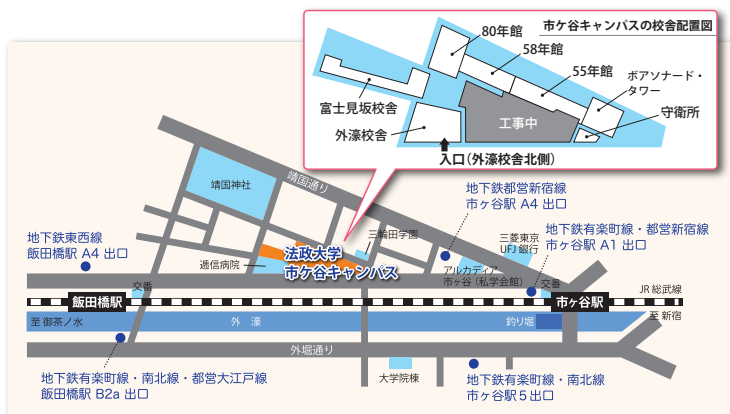


専修大学 日本大学
(瀬戸口龍一氏) (高橋秀典氏)

2015年 11月23日 (月, 祝日)

13時30分～17時30分 入場無料 予約不要

会場 法政大学市ヶ谷キャンパス
ボアソナード・タワー
26階 スカイホール
(東京都千代田区富士見2-17-1)



戦後70年 法政大学と出陣学徒—記憶と記録

第一部 法政大学における学徒出陣調査（中間報告）

本学では、2012年から6ヶ年の計画で学徒出陣調査を実施しており、本年はその折り返し地点にあたります。

この間の調査において、本学から出陣した学徒の人数が従来の記録を大きく上回るかたちで見直されたほか、50名におよぶ校友への聞き取り調査を実施して記録にとどめるなどの成果をあげつつあります。

第一部では、本学が進めてきたこうした学徒出陣調査について改めて内容を紹介し、現在までの成果、今後の取り組みなどについて報告します。

13:30 ～ 開会の挨拶

13:45 ～ 報告

調査概要の説明

法政大学史における学徒出陣のこれまで

学徒出陣の統計調査について

本学校友への聞き取り調査について

馬場 憲一（法政大学史委員会）

高柳 俊男（法政大学史委員会）

古俣 達郎（法政大学史センター）

奥 武則（法政大学史委員会）

第二部 学徒出陣の記憶と記録～各大学の取り組み

戦後70年を迎えたいま、各大学において学徒出陣もしくは戦時下の自校の歴史に関して、どのような調査・取り組みを行っているのか。学籍簿調査等の調査過程で判明した事実・発見や直面した課題・問題、学徒出陣調査そのものの今日的意義、学徒出陣経験の語り方、伝え方、そして戦時下の大学と学生の「記憶」をどう「記録」し、またその「記録」をどう「記憶」していくのか。

第二部では、大学と戦争をめぐるこうしたテーマについて、各大学の調査担当者からの報告もまじえ、意見を交わします。

15:20 ～ 基調講演「学徒出陣の記憶を記録する(仮)」

都倉 武之氏（慶應義塾大学）

15:50 ～ パネルディスカッション「学徒出陣の記憶と記録」

報告1 瀬戸口 龍一氏（専修大学）

報告2 高橋 秀典 氏（日本大学）

総合討議

パネリスト 都倉 武之氏 瀬戸口 龍一氏 高橋 秀典氏 古俣 達郎

司 会 根崎 光男（法政大学史委員会）

質疑応答

指定質問者 奥平 晋氏（中央大学）